◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆NPO アジア金型産業フォーラム

熊の襲撃が過去最多に
今年4月から10月までに全国180人被害に

～金型企業が究極のアルミ製“熊鈴”の開発～

講　師　ダイキ精工株式会社　代表取締役社長　齋藤宏和
ダイキ精工株式会社　取締役　齋藤早苗

今、島根県・三重県・京都府・岐阜県・長野県・群馬県・富山県・新潟県・福島県・宮城県・山形県・岩手県・秋田県・青森県・北海道という広範な地域で熊による人身被害や死者が出るなど深刻な状況が続いている。特に４月から１０月までの被害が１８０名と過去最悪となり、このうち東北地方被害は７割を占めている。11 月になり、岩手県知事や北海道知事が環境省を訪れ伊藤大臣にクマ被害防止の緊急要望書を手渡すという事態にまでなっている。

一般に熊被害防止の一つの手段として**“熊鈴”**があり、鈴の音を鳴らすことで「人間がここにいるぞ！」と熊に知らせる特殊な鈴のことである。**熊鈴**は熊よけの効果があり、「**熊鈴**を鳴らすだけで効果があるの？」と思われがちだが、そもそも熊はその見た目と裏腹に臆病な動物であり、鈴の音を聞いて人間の存在を察知すると、自ら隠れたり逃げたりする性質があるため、登山やキャンプなどの防衛策として重宝されている。

-----*-----*-----*-----*-----

ダイキ精工（株）は、本年創業 50 年を迎えたロストワックス用金型メーカーであるが、コロナウィルス感染症による社会状況の変化により、受注がストップするという先の見えない不安を抱えることになった。

しかし、その中でも前を向いて、自分たちの技術を活かして何かできないだろうかと自社製品である「アルミ風鈴」の開発を進めた。自社でオンラインショップを開設し、小牧市のふるさと納税返礼品にも選定され、少しずつ認知されてきた。

その後、アルミ風鈴の新製品である「音階風鈴」「天秤風鈴」を、デザイナーと共に開発し、クラウドファンディング（Makuake）に挑戦した。おかげさまで当プロジェクトは多くの応援をいただき、大成功を収めることができた。

そして今回、2 度目のチャレンジになるのが、アルミ製**“熊鈴”**の開発である。アルミ風鈴の技術を活用し、澄んだ心地よい音色はそのままに、屋外で遠くまで音が届くよう十分な音量が出る当製品は、**熊鈴**としてはもちろん、短冊をつけて風鈴としても楽しん

でもらえるよう 2way 仕様になっている。例年以上に深刻な熊被害にお困りの方々に使っていただき、お役に立てればと願っている。

-----*-----*-----*-----*----

　モノつくりの技術である金型の活躍を飛躍的に進めるチャレンジ精神をここで紹介をお願いしました。

（１）企業/技術紹介
（２）アクション１：コロナ禍の自社製品の開発
（３）アクション２：地域とつながる
（４）アクション３：クラウドファンディングに挑戦
（５）アクション４：ダイキネクスト
（６）アクション５：第２弾 Makuake プロジェクト

・日 時 ２０２３年１２月１９日（火） １６時～１８時
・会 場 ZOOM による講演会
・申込はこちらへ メール：info@npo-admf.org　1）氏名　2）社名/所属
　3）アドレス　4) e-mail　5）会員/非会員　6）電話/ＦＡＸ
・定 員 100 名
・参加費　＊会員は無料 ＊非会員（年会費として¥５０００/4 月～3 月）
・入会届 年会費　http://www.ido21.com/mm//21.05.13nyukaihyou.pdf

NPO アジア金型産業フォーラム◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆